

TOYO Bunko Museum

ア!

東洋文庫ミュージアム

教科書で見た

7/4 → 11/4



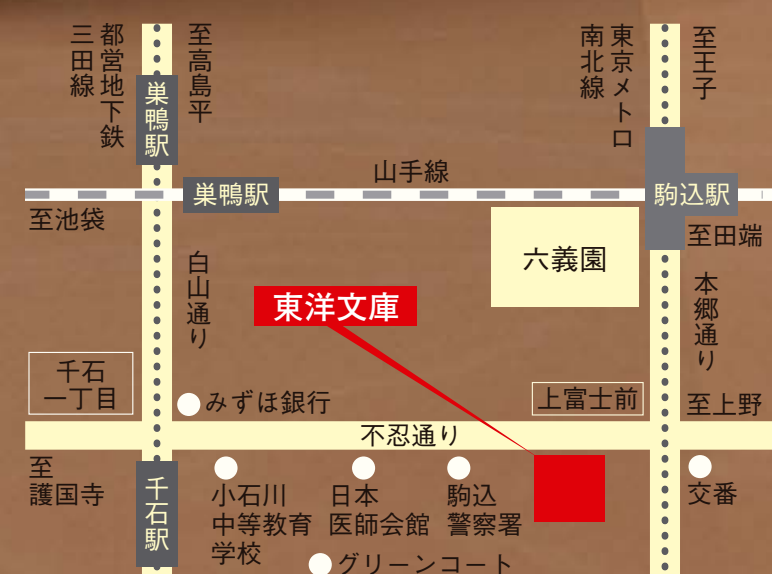
 東洋文庫

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-21 TEL : 03-3942-0280 入館料 ◆ 880円(一般)・680円(大学生)・580円(中・高校生)・280円(小学生)

アクセス ◆ 駒込駅(JR山手線南口、東京メトロ南北線2番出口)徒歩8分、千石駅(都営地下鉄三田線A4番出口)徒歩7分

開館時間 ◆ 10:00 ~ 20:00 ※入館は閉館の30分前まで 休館日 ◆ 毎週火曜日(但し、火曜が祝日の場合は次の平日)、12月30日~翌年1月1日

協力: 東京書籍株式会社 株式会社山川出版社



これ、教科書で見た気がする…



E. ダンカン『アヘン戦争図』1843年

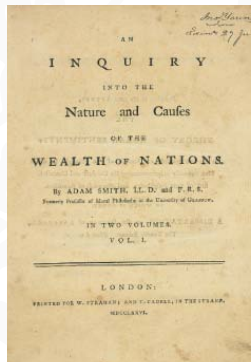
それもそのはず、教科書にのっているおなじみの絵のいくつかは、東洋文庫の所蔵品です。例えば右の「アヘン戦争図」。残念ながら教科書では実物の大きさは分かりませんね。実はすごく小さい…いや、大きい…。まあ、ご自身で本物をご覧ください。きっと新たな発見がありますよ。

他にも、「国富論」、「解体新書」、「御成敗式目」、「コーラン」、「万葉集」、「魏志倭人伝」…、どれも学校で教わったはずですが、本物を見た事はないでしょう？聞くと見るとは大違い、「百聞は一見にしかず」。まずは本物を見て、その迫力に接して下さい。歴史が好きになりますよ、きっと！

その他にも、国宝・重要文化財、浮世絵、「東方見聞録」の世界最大のコレクション、マリー・アントワネットの蔵書と伝わる「イエズス会士書簡集」など、“お宝”がぎっしり詰まっています。昔の中国の国家公務員試験、「科挙」の最優秀合格者の答案もあります。これを見ておけば、試験合格も間違いなしですね？



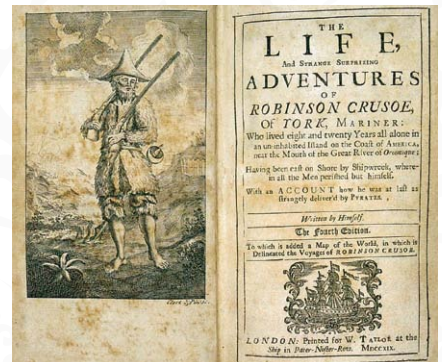
『マテオ・リッチと徐光啓』1667年



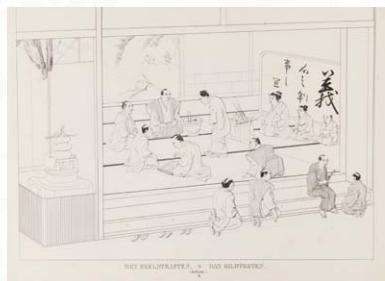
アダム・スミス『国富論』(初版) 1776年



杉田玄白ほか『解体新書』 1774年頃



D.デフォー『ロビンソン・クルーソー漂流記』 1719年



シーボルト『NIPPON』より「絵踏み図」1832年



『コーラン』1371-72年写

国宝・浮世絵の展示予定(7月4日～11月4日)

◆ 国宝

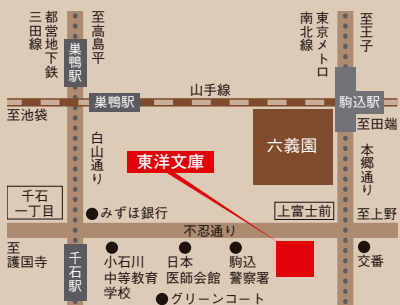
- I 期『文選集注』巻八十八 平安中期書写(7月4日～8月6日)
- II 期『文選集注』巻百十三ノ一 平安中期書写(8月8日～9月3日)
- III 期『古文尚書』唐時代初期書写(9月5日～10月1日)
- IV 期『文選集注』巻百十三ノ二 平安中期書写(10月3日～11月4日)

◆ 浮世絵 品格の美～鳥文斎栄之の世界～

- 鳥文斎栄之『夏宵遊興図』、『小舟町天王祭礼図』(7月4日～10月1日)
- 鳥文斎栄之『風流略六芸 十種香』、栄松齋長喜『風流挿花会』(10月3日～11月4日)



『夏宵遊興図』



交通案内

駒込駅(JR山手線南口、東京外口南北線2番出口)徒歩8分
千石駅(都営地下鉄三田線A4番出口)徒歩7分



東洋文庫

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-21
TEL : 03-3942-0280
<http://www.toyo-bunko.or.jp>

あわせてご利用ください

- ◆ ミュージアムショップ
『マルコ・ポーロ』
(10:00～20:00)
- ◆ レストラン
『オリент・カフェ』
(11:30～21:30)